平成25年1月期 第2四半期決算短信（日本基準）（連結）

平成24年9月11日

上場会社名　一建設株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3268　URL　http://www.hajime-kensetsu.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）堀口　忠美
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　管理本部長　（氏名）青柳　秀樹　TEL 03-5393-3098
四半期報告書提出予定日　平成24年9月13日　配当支払開始予定日　平成24年10月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	130,117	—	11,021	—	10,703	—	7,325	—
24年1月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益　25年1月期第2四半期　7,333百万円　（—%）　24年1月期第2四半期　—百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	256.46	—
24年1月期第2四半期	—	—

（注）平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第2四半期	164,983	63,581	38.5
24年1月期	—	—	—

（参考）自己資本　25年1月期第2四半期　63,581百万円　24年1月期　—百万円

（注）平成25年1月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期第2四半期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	35.00	—	35.00	70.00
25年1月期	—	40.00			
25年1月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 1月期の連結業績予想（平成24年 2月 1日～平成25年 1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	—	24,800	—	24,000	—	15,800	—	553.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
平成25年1月期より連結決算を開始するため、対前年同四半期増減率及び対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料p．3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期2Q	28,562,280 株	24年1月期	28,562,280 株
② 期末自己株式数	25年1月期2Q	118 株	24年1月期	118 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期2Q	28,562,162 株	24年1月期2Q	28,562,162 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当っての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）p．3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
４．補足情報 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年２月１日～平成24年７月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな回復基調にあるものの、電力供給の制約や消費税増税問題、また円高の長期化や欧州債務危機による海外景気の下振れリスク等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

不動産業界におきましては、住宅ローン金利が低位で推移していることなどから、住宅取得マインドは改善傾向にあるものの、経済の先行き不安に伴う雇用・所得環境の不透明感により、引き続き厳しい環境が続くと思われます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、徹底した原価管理と品質向上に努め、より多くのお客様に高品質の住宅を低価格で供給することに注力してまいりました。また、請負工事事業の業容拡大、スケールメリットによる収益力の向上等を図るべく、第１四半期連結累計期間より城南建設㈱を子会社化しております。この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は130,117百万円、営業利益は11,021百万円、経常利益は10,703百万円、四半期純利益は7,325百万円となりました。

なお、第１四半期連結累計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同四半期比較については、記載しておりません。

セグメント別販売実績は、次のとおりになります。

なお、新たに連結子会社となりました城南建設㈱及び城南フィナンシャルサービス㈱につきましては、「請負工事事業」セグメントに分類しております。

セグメントの名称	金額	内容
戸建分譲事業	91,517百万円	建売分譲3,531棟 88,121百万円、土地分譲145区画 3,396百万円
マンション分譲事業	18,652百万円	マンション分譲579戸
請負工事事業	19,282百万円	規格型注文住宅229棟 2,531百万円、分譲住宅の販売に伴う追加工事及びオプション工事1,345件 632百万円、子会社による売上高16,118百万円
その他	664百万円	分譲住宅販売時に付随して発生するサービスの提供等

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は164,983百万円となりました。なお、流動資産は152,750百万円、固定資産は12,233百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金30,323百万円、たな卸資産117,810百万円であります。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産8,784百万円、投資その他の資産3,098百万円であります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の総負債は101,402百万円となりました。なお、流動負債は93,407百万円、固定負債は7,994百万円であります。

流動負債の主な内訳は、工事未払金14,524百万円、短期借入金46,076百万円であります。

固定負債の主な内訳は、長期借入金5,001百万円、退職給付引当金1,405百万円であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は63,581百万円となりました。純資産の主な内訳は利益剰余金57,057百万円であります。

（注）第１四半期連結累計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前連結会計年度末との比較については、記載しておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、25,699百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益11,294百万円及び仕入債務の増加6,941百万円等による資金の獲得をしましたが、事業用地を積極的に取得したことによるたな卸資産の増加28,688百万円及び法人税等の支払4,149百万円等により、

営業活動による使用した資金は14,343百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

連結の範囲の変更を伴う城南建設㈱の株式の取得により1,089百万円の資金を獲得した一方、定期預金及び定期積立金の預入による純支出550百万円等により、投資活動で獲得した資金は842百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

前事業年度における配当金の支払999百万円を行い、また一方、借入金及び社債の純増13,758百万円等により、財務活動で獲得した資金は12,758百万円となりました。

（注）第１四半期連結累計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同四半期比較については、記載しておりません。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年１月期の連結業績予想につきましては、平成24年３月６日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、今後、業績等に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3．四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間 (平成24年７月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	30,323
販売用不動産	25,482
仕掛販売用不動産	81,085
未成工事支出金	11,242
その他	4,615
流動資産合計	152,750
固定資産	
有形固定資産	8,784
無形固定資産	350
投資その他の資産	3,098
固定資産合計	12,233
資産合計	164,983
負債の部	
流動負債	
支払手形	11,157
支払信託	7,250
工事未払金	14,524
短期借入金	46,076
1年内償還予定の社債	64
1年内返済予定の長期借入金	3,999
未払法人税等	4,027
賞与引当金	287
その他	6,019
流動負債合計	93,407
固定負債	
社債	104
長期借入金	5,001
退職給付引当金	1,405
保証工事引当金	695
資産除去債務	558
その他	230
固定負債合計	7,994
負債合計	101,402

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間 (平成24年７月31日)
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,298
資本剰余金	3,208
利益剰余金	57,057
自己株式	△0
株主資本合計	63,564
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	17
その他の包括利益累計額合計	17
少数株主持分	0
純資産合計	63,581
負債純資産合計	164,983

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日)
売上高	130,117
売上原価	107,189
売上総利益	22,927
販売費及び一般管理費	11,906
営業利益	11,021
営業外収益	
受取利息	8
受取違約金	17
採納助成金	23
その他	45
営業外収益合計	94
営業外費用	
支払利息	382
その他	29
営業外費用合計	412
経常利益	10,703
特別利益	
固定資産売却益	20
負ののれん発生益	582
その他	2
特別利益合計	605
特別損失	
固定資産除却損	14
特別損失合計	14
税金等調整前四半期純利益	11,294
法人税等	3,969
少数株主損益調整前四半期純利益	7,325
少数株主利益	0
四半期純利益	7,325

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,325
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8
その他の包括利益合計	8
四半期包括利益	7,333
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	7,333
少数株主に係る四半期包括利益	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	11,294
減価償却費	275
負ののれん発生益	△582
引当金の増減額（△は減少）	△41
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息及び社債利息	382
固定資産売却損益（△は益）	△20
固定資産除却損	14
たな卸資産の増減額（△は増加）	△28,688
前渡金の増減額（△は増加）	△490
未払消費税等の増減額（△は減少）	△123
その他の流動資産の増減額（△は増加）	164
仕入債務の増減額（△は減少）	6,941
その他の流動負債の増減額（△は減少）	292
前受金の増減額（△は減少）	790
その他	△14
小計	△9,815
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△397
法人税等の支払額	△4,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金及び定期積金の預入による支出	△3,274
定期預金及び定期積金の払戻による収入	2,724
投資有価証券の取得による支出	△56
有形固定資産の取得による支出	△222
有形固定資産の売却による収入	299
無形固定資産の取得による支出	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,089
その他	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	842
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	15,679
長期借入れによる収入	7,407
長期借入金の返済による支出	△9,095
社債の償還による支出	△232
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0
配当金の支払額	△999
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,758
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△742
現金及び現金同等物の期首残高	26,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,699

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
当第２四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期損益計算書計上額（注）３
	戸建分譲事業	マンション分譲事業	請負工事事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,517	18,652	19,282	129,452	664	130,117	－	130,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	28	28	－	28	△28	－
計	91,517	18,652	19,311	129,481	664	130,145	△28	130,117
セグメント利益	6,666	1,954	1,452	10,073	617	10,691	11	10,703

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分譲住宅販売時に付随して発生するサービスの提供等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。
３．セグメント利益は、経常利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（重要な負ののれん発生益）
「請負工事事業」セグメントにおいて、城南建設㈱の株式取得による負ののれん発生益が生じております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第２四半期連結累計期間において582百万円であります。

４．補足情報

販売の状況

当第２四半期連結会計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結会計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年７月31日）	
	件数	金額（百万円）
１．戸建分譲		
(1)建売分譲	1,977棟	48,688
(2)土地分譲	98区画	2,204
２．マンション分譲	372戸	11,885
３．請負工事		
(1)当社	988件	1,875
(2)子会社　　（注２）	278棟	8,791
報告セグメント計	－	73,445
４．その他	－	367
合　計	－	73,813

（注）　１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２．子会社の件数は、請負の建物を建築した棟数を記載しており、金額には、建築条件付土地分譲等の金額も含んでおります。